

令和4年10月20日

自由民主党ウインタースポーツ&リゾート議員連盟各位

一般社団法人日本スノースポーツ&リゾート協議会

会長 北野貴裕

全国旅行支援拡充等の要望

自由民主党ウインタースポーツ&リゾート議員連盟の先生方には日ごろから大変お世話になっております。先生方のお力添え等もあり、コロナの水際対策もようやく撤廃され、今シーズンこそはインバウンドの皆様をお迎えできることとなりました。関係者一同、大変喜んでおります。スノー関係者も、燃料費の高騰や円安による物価高の影響で経営が非常に圧迫されており、政府の総合経済対策、特に電気代の抑制策を大いに期待しております。そのうえで、下記の要望をさせていただきますのでよろしくお願い致します。

記

1 全国旅行支援の拡充等

政府におかれましてはGo Toキャンペーンに代わる観光支援策として全国旅行支援を開始されました。ただ、期間が取りあえず12月下旬までとされています。スノースポーツも恩恵を受けられるよう、この期間延長を強く要望します。ただ、予算がなくなり次第終了しますので、冬期も対象となるよう補正予算等による予算の確保をお願いします。合わせて、児童生徒のスキー教室のバス代が家庭の負担となっていますので、これらも対象になるよう、又、リフト券、スキースクール、レンタルなどの費用も地域クーポンの対象となるようよろしくお願い致します。

2 国際競争力の高いスノーリゾート形成事業の補助対象の拡大

国際観光旅客税の創設の際、自由民主党ウインタースポーツ&リゾート議員連盟の先生方の強いお力添えもあり、標記の事業を観光庁に創設していただきました。ありがとうございます。ただ、直後にコロナが世界的に流行し、国際観光旅客税の税収が見込めなくなるのみならず、他方、スキー場等も、経営の悪化やインバウンドの再開が見込めない等の事情から投資に踏み切れない状況が続いてきました。今シーズンからインバウンドも再開されます。スキー場にとっての課題は国際化への対応の遅れなど多々ありますが、喫緊の課題は、やはり、スキーブームのころに作られ更新ができていない、30年以上経ち老朽化の目立つ、海外からは「骨董品」とまで揶揄されているリフトやゴンドラの架け替えです。これらの更新には多額の費用が掛かりますが、コロナの影響もあり、各スキー場の経営状況は一般的には非常に厳しいものがあります。インバウンド再開のこの機会に、思い切った設備更新ができるよう、スノーリゾート地域にとっての公共インフラともいえる、リフト、ゴンドラの新設などを幅広く補助対象に加えていただくことを強く要望します。

3 外国人労働者確保

スキー場も、経営安定、通年雇用の確保などの観点からグリーンシーズンの対策に力を入れ始めていますが、一般的には冬期の季節営業です。季節雇用で人手不足に悩んでおります。そのため、従前から、ワーキングホリデイの活用等によりオーストラリアなどから冬期のスタッフを確保してまいりました。コロナ禍により数年途絶えていましたが、水際対策が解除されましたことから、インバウンド再開に備え、外国人労働者の雇用が従前のように円滑に進みますよう、ビザの取得や就労手続きの簡素化などをお願いいたします。

4 水際対策撤廃の海外への周知の徹底

コロナの水際対策が撤廃されたことには大いに感謝しております。ただ、残念ながら、海外ではまだあまり知られていないかのようで、今シーズン日本に行けるのかどうかという問い合わせが来ています。このままでは、せっかく解禁していただいたにもかかわらず、北米などにオーストラリアなどの常連客を取られてしまう恐れがあります。早急に、海外へのよりいっそうの周知徹底をお願いいたします。合わせて、日本ではマスクの着用が求められていますので、トラブル防止のため、このことの事前の告知もお願いします。